3. 災害時の連絡・情報伝達の方法

1) 災害伝言ダイヤル

災害伝言ダイヤルは、日本国内で大規模な災害が発生し、通信が増加 し、つながり難くなった場合、電話を用いて音声による伝言板の役割 を果すシステムです。

(1) 災害伝言ダイヤルを体験してみましょう。

利用体験し、災害発生時すぐに利用できるよう備えましょう。

<体験利用日>

- 毎月1および15日 0:00~24:00
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)

(2) 伝言(情報)を聞く方法

- (1) 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「2」(再生)を押します。
- 4 案内が流れます。
- ⑤ ふくどめクリニック電話番号「0985417700」を押します。
- ⑥ 少しして、ふくどめクリニックからの伝言が流れます。

<内容>

- ・ふくどめクリニックの被災状況
- ・当院で透析が出来るかどうか
- ・透析受け入れ病院の情報
- 移動手段

といった情報が聞けます。

(3) 伝言(情報)を録音する方法

- ① 電話番号「171」を押します。
- ② 案内が流れます。
- ③ 「1」(録音)を押します。
- ④ 案内が流れます。

- ⑤ ご自宅の電話番号をダイヤルして下さい。
- ⑥ 30秒以内に伝言を入れて下さい。

<内容>

- ご本人およびご家族の安否、体調
- 避難した場合の避難先の所在地、連絡先
- ・透析を行うにあたり、交通手段の相談等の情報を録音して下さい。

2) 宮崎県透析メール

登録方法

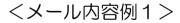
 次の登録用メールアドレスに空メール(件名・本文を入力せずに) メールを送る。

touseki.miyazaki-pref@raiden2.ktaiwork.ip

- ※または、右記のQRコードからでもOK
- ② メールが自動返信されて来ます。
- ③ 返信されたメールに記載されたアドレス(URL) ヘインターネット接続します。
- ④ 氏名と情報を取得したい地域を選択 (複数でも可)

内容を確認後、登録を行って下さい。

⑤ 登録完了メールが届けば完了です。※災害用ですので、通常でのメール配信はありません。



地震により〇〇クリニックが透析できなくなっています。患者さんの受け入れ先調整中です。〇〇クリニックの患者さんはクリニックと連絡をして下さい。

<メール内容例2>

□□病院の患者さんは△△公園に集合して下さい。

<メール内容例3>

宮崎市南部の透析施設には、被災がありませんでした。



各施設の患者さんは安否確認のため施設との連絡をとって下さい。

3) 人工透析患者連絡カード

人工透析患者連絡カードとは、必要な場所に必要な情報を届ける目的 として作成され、患者さんへお渡ししています。

<カードの情報>

- ・患者さんの透析に最低限必要な情報
- ・患者さん、クリニックの連絡先
- ・伝言ダイヤルの利用手順
- 宮崎市内の近隣施設情報(住所、電話番号)
- ※被災のみならず、患者さんにトラブル等が発生したときに大変役に 立つカードとなっています。常に携帯し、必要に応じてカードを提 示してください。